

第1回三島駅インバウンド誘客検討会 議事録

日 時 令和7年9月12日（金）

10時から11時50分まで

会 場 プラサヴェルデ4階402会議室

出席者 委員名簿のとおり

1 議題

- （1）前回開催結果
- （2）インバウンド誘客に向けた取組等について
- （3）各種調査により判明した地域の状況
- （4）論点整理
- （5）課題への方策（意見交換）

2 会議の内容

【1 前回開催結果】

事務局より資料の説明

【2 インバウンド誘客に向けた取組等について】

各委員より説明

【3 各種調査により判明した地域の状況】

事務局より資料の説明

（Tony 委員）

- 「認知度」が一番の課題である。例えば、「HAKONE」というキーワードの検索に対して、「IZU」というキーワードの検索の比率は、約100対1程度と感じる。

（塩澤委員）

- 欧米の方からすると伊豆半島は非常に魅力的。受入姿勢に施設ごとに温度差がかなりあって、地域全体としてインバウンドが欲しいという動きがないのが課題である。

（植松委員）

- 初めての訪日客はなかなか伊豆まで来ない。伊豆のターゲットはリピーター。

（宮崎委員）

- バス会社の営業区域や運転手不足が弊害。やろうにもやれないという実情がある。三島で降りたときにどれだけ「おもてなし」ができるかが大事。

（川口委員）

- いい地域資源はあるもサービスにうまく繋がられていない部分が顕著。ここに地域の反転攻勢の潜在能力があるのではないのかと思う。

（遠藤委員）

- 受入環境については、インバウンドの方たちには全体的に優しくない印象。自由に歩けるような環境がまだ醸成できてないと感じる。また、伊豆半島全体をみてもインバウンドに突出した宿泊施設が少ない。

【4 論点整理、5 課題への方策（意見交換）】

事務局より資料の説明

(Tony 委員)

- 一番大きな課題は「知名度」。一番力を入れたい。
- 単発でコンテンツを創るだけではなく、販売できる旅行会社等につなぐ仕事が必要。
- 「富士山」という言葉を山梨県と静岡県が共同で使っているように、「箱根山」も静岡県の言葉として使える。「富士箱根伊豆国立公園」は、知名度の高い「富士」と「箱根」を「伊豆」につなげるいいフレーズ。
- キャッシュオンリーは治安の良さの証。こういった不便さもお客様に伝えることで、魅力や売りの1つになる。

(宮崎委員)

- ハブとして三島駅に何が足りないのかという「スモールスタート」で始めて、少しずつ成果が出始めれば民間が動く。とにかくやってみるというスタイルで進めたい。
- 小田急のフリーパスが使える三島を「箱根の西の玄関口」にするため、箱根町や小田原市との連携を進め、軌道に乗ってきた。

(植松委員)

- FITが9割を占める今、SNSやフェイスブックなどスマホに届く情報発信が必要。
- 箱根と違い伊豆半島では観光地と生活圏が近いため、インバウンド受入の機運醸成に課題があるのでは。

(森委員)

- 欧米等の取り込みを強く進めるべき。
- 石川県や長野県が大きく伸びている。10年後には、ゴールデンルートがむしろ北陸新幹線になり、静岡県が相手にされなくなるかもしれないと危惧している。
- 認知度を上げるための売り込みが足りていない、その危機的状況を理解すべき。海外の旅行会社が東京・大阪以外の情報を求めている今が売り込みのチャンス。
- 日本旅館を体験しに来ている方もいる。我々が日本文化という部分を大切にして、お客様に知ってもらうのも大事。
- 海外の休暇に合わせた宿泊料金の設定にすることで、経営の安定化につながる。
- キャッシュレスの促進を伊豆半島で進めていきたい。

(塩澤委員)

- 何がきっかけになるか分からない。消費者であるインバウンドのお客様が何を求めているのか、外国人視点で再発見をする必要がある。
- 西伊豆・東伊豆は中華圏に依存しているため、チャイナリスクを危惧している。欧米系を取り込むことでリスクを抑えたい。

(埜村委員)

- 集客の弱い地域は国・自治体がフォローして盛り上げていくようなムーブメントを作っていければ、民間事業者が手を出してくる。とにかく圧倒的な誘引力のある名前が大事で、そのために売り込みが必要。

(遠藤委員)

○インバウンドを知る機会を増やすことが大事。観光データ・人流データに加え、生のデータがあると、より明確な戦術戦略が立てられる。

(川口委員)

○まずはスモールスタートで進めていきたい。

○多くの人に参画をいただいて、官民皆さん知恵を出し合って今後も進めていければと思う。

(委員長)

○2019年から2024年にかけて、インバウンドの泊数は全国ベースで5割増しとなった。

本県でも同様に増えれば、宿泊、観光、交通事業者など、様々な人たちの大きなマーケットになると考えられる。

○今回委員の皆様いただいた意見等を参考に改めて整理・補足し、改めて増強した案をお示ししたいと思う。